

案件名 第3次武豊町生涯学習基本構想（案）
募集期間 令和4年2月7日～令和4年2月28日

番号	件数	意見の概要	担当課名 生涯学習課 町としての考え方
1	①	p1 『第1章 基本構想策定にあたって』において、第2次構想からの継続計画であるなら、第2次の総括を入れるべき。 総括した結果、何を継承し、何を変えるのかを明確に。	p23-25に、（第2章 生涯学習を取り巻く町の状況）「2-3生涯学習施策の成果と課題」を追記し、そこで総括させていただきます。
2	①	p7 文化芸術施策を充実させる立場で意見を述べます。 ◆生涯学習施策の下位に文化芸術施策があることについて感じる違和感 生涯学習施策の下位に文化芸術施策があることについて、端的にいえば、このことは文化芸術を単なる「趣味」の領域として捉えているのではないかという懸念があります。構想に書かれている文化芸術施策は、どこの市町でも通じる一般的なことであると感じます。 武豊町民会館建設開始から20年余を経た現在、全国的にも注目されている武豊町の文化芸術施策は、国の文化芸術基本法に則り、もっと大きな視点で展開すべきであると私は考えています。 当初から関わってきた者として、他の市町からの視察を受け入れたり、研修に講師として出向いたりする中で、武豊町は、他のまちには絶対にまねできない素養、「武豊ブランド」を持っていると強く感じるからです。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>【文化芸術基本法】 「文化芸術振興基本法」は、「文化芸術基本法」として改正され、平成29年6月23日に公布、施行されました。 改正の趣旨は、下記のとおりです。 ***** 文化芸術の固有の意義と価値を尊重しつつ、文化芸術そのものの振興にとどまらず、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策を本法の範囲に取り込むとともに、文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用しようとするものです。</p></div> ◆芸術と科学のまちとして、武豊町を全国に発信 *文化のまち武豊 武豊町民会館では、2004年の開館以来、18年に渡り一貫して積極的に多彩な自主事業を展開してきました。建設して数年で貸館のみとなりただの箱モノとなってしまう会館も多い中、県内でも有数の事業展開をする会館として、地域の文化力を高めたことが、全国でも評価され、2013年には、武豊町民会館が「平成25年度地域創造大賞（総務大臣賞）」を受賞しました。 さらに、2017年度には、武豊町と協働で運営に携わる特定非営利活動法人武豊文化創造協会（NPOたけとよ）が、平成29年度愛知県芸術文化選奨（文化賞）を受賞し、事業運営に関わる団体としては、初受賞となりました。	生涯学習基本構想は、武豊町の生涯学習施策について広く全般的な方向性を示すものです。文化芸術はもとより、スポーツや文化財保護、サークル活動、ボランティア活動などのほか、個人個人の生涯学習意欲について、単なる「趣味」の領域として捉えるものではありません。 したがいまして、「文化創造プラン」につきましては、生涯学習施策の下に（中に）位置づけさせていただきます。

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
		<p>質の高い多彩な鑑賞事業だけでなく、地域の人たちの創造の場として、町民劇団やジャズビッグバンドの育成や、地域のアーティストが出演するモーニングコンサートの実施、第一線のアーティストによる小学校でのアウトリーチの継続、さらに広域での連携事業として、知多半島春の国際音楽祭、東海地区での会館連携コンサート（サロンコンサート）などの中心を担ってきたことが非常に高く評価されました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「平成 25 年度地域創造大賞（総務大臣賞）」 受賞理由 “町民参画型運営”により文化力を向上 施設構想段階から町民参画を推進。特定非営利活動法人武豊文化創造協会（NPOたけとよ）を設立し、多彩な自主事業を実施。春の音楽祭、ゆめプラサロンコンサート・モーニングコンサート、武豊町民劇団、各種講座などに加え、ネットワークにも積極的に取り組み、近隣5市5町とともに「知多半島春の音楽祭2013」を実現。町民参画により文化力の向上に貢献した。 * * * * * ◎表彰の主なポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方公共団体等が、文化・芸術による地域振興やふるさとづくりという地域を豊かにするための行政の目的に沿った芸術文化振興ビジョンや公立文化施設の理念、使命を持ち、それを達成するための施設運営がなされているかどうか ・ 先進性、テーマ性を有する自主企画作品の制作、公演や自主企画展覧会の開催等創造的な活動に取り組むとともに、内外の優れた作品の鑑賞機会の提供に意欲的に取り組んでいるか ・ 地域住民の文化・芸術活動の育成支援、教育普及活動、住民参加・参画など地域住民との協働（コラボレーション）に意欲的に取り組んでいるか </p></div> <p>*宇宙のまち武豊 町民会館の開館前から、口ケット開発の父である糸川英夫博士、的川泰宣博士とのつながりから、中央公民館で開催されていた「宇宙学校」に始まり、20年以上経た今でも、現在のJAXAの小惑星探査機はやぶさ2の津田雄一郎プロジェクトマネージャ、吉川真ミッショナリーマネージャ、細田聰史スーパーバイザーとのつながりによる「めざせ！はや通」講演会や、2011年、2022年と二度に渡る「はやぶさ帰還カプセル展示」など、町内の企業である日油(株)とも連携し、全国に先駆けた取り組みをしています。 「はやぶさ」の取り組みは、会館の中での事業にとどまらず、2011 年の帰還カプセル展示の実行委員会が町民と一緒に製作した「小惑星探査機はやぶさ実物大模型たけとよモデル」を、全国のカプセル展示会場に巡回させ、2022年には、NPO法人ギガスター（理事長：間瀬康文）が、さらに精巧な「小惑星探査機はやぶさ 2実物大模型たけとよモデル」を作成、今度は JAXAの公認斡旋を得て、東京の未来科学館、相模原のJAXAキャンパスはじめ、北海道から九州まで全国のカプセル展示会場で、巡回展示を行っています。</p>	

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
		<p>*事業を支えるボランティアスタッフ すべての人が、自主的に参加しています。ボランティアの内容には様々な参加の形態があり、個々の状況や、やりたいことに合わせて選択できるようになっています。</p> <p>ボランティアスタッフとして参加することで、事業内容や会館に愛着がわいて身内感覚となり、来館者に事業内容を褒められたりお礼を言われたりすると嬉しくなって、それがやりがいや、シティプライドにつながっていきます。これはとても大切なことです。</p> <p><NPO たけとよ、各種実行委員会> 事業の企画から実施までを担う。</p> <p><フロントスタッフ> コンサートや演劇公演の表方。チケットもぎりや会場案内など。</p> <p><ダ・ヴィンチスタッフ> 子どもたちを対象としたものづくりや科学系ワークショップの補助。</p> <p><情報スタッフ> 記録撮影（写真、動画）や配信撮影を行う。</p> <p><ゆめプラス> 各種事業のチラシを手配りする。</p> <p><アテンド（臨時）> アート系の展示や、帰還カプセル展示等のイベント時に臨時募集する。</p> <p>*武豊町のシティプロモーションとシティプライド 以上は、まさに武豊町のシティプロモーションであり、武豊町のシビックプライドとして、さらに多くの町民を巻き込んで展開するに十分な取り組みです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>「シティプロモーション」とは 地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動 ***** 「シビックプライド」とは 「まちに対する市民の誇り」のこと。単なるまち自慢や郷土愛ではなく、「ここをよりよい場所にするために自分自身がかかわっている」という、当事者意識に基づく自負心を意味する</p> </div> <p>◆全国発信への起爆剤 武豊町にとっての文化芸術施策は、20年以上かけて培ってきた全国発信への起爆剤であると考えています。その土壤は、年月をかけ、手間暇をかけ、多くの人が培ってきました。 これをもっと外に向けて発信していくことで、若い人たちや知識層の人たちを呼び込み、さらに新しいまちを作っていく基になると思っています。 それには、文化芸術施策を矮小化させず、さらに発展できるような方向に向かっていく必要があると考えます。</p> <p>したがって、P7の図表1-4 構想の位置づけについて「文化創造プラン」の位置づけを、生涯学習基本構想からラインを引かず、「文化芸術」の下から、2本ラインを出して、1本は「生涯学習基本構想」へ、もう1本は直接「文化創造プラン」にラインを引いた方が良いと思います。</p> <p>提案は以上です。</p>	

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
	②	p12 学習、参加としての位置づけのみで、科学分野の視点、創造の視点が欠如しているではないかと思います。主な講座の内容がかなり古い。現在のものに差し替えた方がよいと思います。	内容の本文『幅広いジャンルの文化を親しむ機会を提供』の部分を、『幅広いジャンルの文化を親しむ機会、芸術と科学に共通する創造の力に触れる機会を提供』と修正しました。 主な講座等の内容について、ご指摘のとおり古いものも含まれておりましたので、再整理しました。
	③	p21 とても興味深い結果だと思います。町単独で企画することより、町民が一緒に企画する方にベクトルが向いてるのが、とても面白いです。	(ご意見として承ります。)
3	①	p12 『NPOと連携しながら』という表現は『NPOと協働して』とした方が良い。	ご指摘のとおり改めます。
	②	p12 内容が変わっているものあるいは行われてなもの ゆめホタル～君も光の芸術家 映像メディア講座 <現在行われていない> 千AF（武豊アニメーションフェスティバル） ロボット製作教室 → レゴロボット製作教室 モデルロケット製作教室&打ち上げ大会 からくり工作教室 <現在行われていない> ダーヴィンチ作品展覧会 <現在行われていない> 現代美術の鑑賞 → 現代アートの鑑賞事業 科学のレクチャー講座 → サイエンスレクチャー ゆめたろう放送局 <現在行われていない> ゆめプラ映像発表会 <現在行われていない> 他の施設での講座事業についても確認の必要があると考える。	以下のように訂正します。 ゆめホタル～君も光の芸術家 レゴロボット製作教室 モデルロケット製作教室&打ち上げ大会 現代アートの鑑賞事業 サイエンスレクチャー 他の施設の事業についても、再度確認いたします。
	③	p30(p34) ⑤住民ニーズに応じた学習支援（全世代共通）の1-1-10『定期的に、町民を対象としたアンケートを実施し、生涯学習に対する志向などを調査・分析します。』は、ぜひ実現して欲しい。場合によっては関連組織と連携しての実施も有効となる。また、P20のアンケートを見ても20代・30代・50代など幅広い世代を通じて生涯学習の必要性を感じている。何をどう学びたいのかを知ることは大変重要であり、アンケートの結果を知りその後の取り組みについて知ることで主体者意識が生まれると考える。今後の武豊町の民度を向上とシティプライドの涵養を図ることができるととも考える。	(ご意見として承ります。) 本構想の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、中間に見直しを行うなど、前向きに検討してまいります。
	④	p39(p44) ②多様な交流による文化芸術交流活動の充実【町民会館】において、内容2-2-4の『知多半島国際音楽祭』は、現在は行われていない。今後も実施の見通しはないのでは。	『知多半島国際音楽祭』の表記は、削除します。
	⑤	p46(p51) 『関係団体・機関の代表者、教育関係者、学識経験者で構成する「生涯学習推進協議会」において、生涯学習の推進について研究協議を行うとともに、総合的な推進を図ります。その円滑な運営・推進を図るために関係各課・教育委員会で構成する「生涯学習推進本部」を設置します。』と示されていますが、その具体的な内容とそこで話し合われた内容（各年度の取り組みについての反省と今後の展望など）を誰でもが見られ、意見を述べられるようなシステムが必要と考る。	進捗状況については、事業担当により進捗状況を取りまとめるとともに、年間の事業報告書「武豊町の生涯学習」を作成します。これらは、社会教育審議会に報告し、意見・評価を得る機会を設け、その後の取組に反映していきます。また、同審議会の会議資料ならびに審議結果についてはホームページ等で公表します。
	⑥	総論的には基本方針なのであまり具体的な取り組みが示されていないのが残念な気がする。	基本構想でありますので、基本方針を中心に記述しております。 個別の具体的な取り組みについては、各所管において実施してまいります。

番号	件数	意見の概要	町としての考え方
4	①	<p>p24(p28) 生涯学習に係る施策の基本方針の枠の中、『分類3 学び』の横に、『SDGsの17の目標 ④ 質の高い教育をみんなに』を加えたらどうか。 ※ 総合計画においては、SDGsの17の目標と、分野別計画をマトリックス表で整理している（総合計画 p53） ※ 町における他の計画・構想での表現バランスを考え、掲載の可否について検討して頂きたい</p>	<p>生涯学習に係る施策の基本方針の枠の中、『分類3 学び』の右上スペースに、SDGsの17の目標のアイコン『③すべての人に健康と福祉を』『④質の高い教育をみんなに』『⑤ジェンダー平等を実現しよう』『⑩人や国の不平等をなくそう』『⑪住み続けられるまちづくりを』『⑫つくる責任つかう責任』を加えます。</p> <p>併せて、枠外下方に、SDGsの関連目標について簡単に説明します。</p> <p>また、p3においてSDGsに関する記述がありますので、SDGsについて簡単に解説を加えます。</p>

※ 掲載個所の（）付き頁数は、確定稿における頁数です。